

おわりに

平成 25 年度の私どもの研究班の活動は、主に本報告書にまとめた 11 月 16 日、17 日の「小児在宅支援に関わる多職種合同セミナー ～医療と福祉の協働で暮らしを支える～」の準備と実施、その振り返りに費やされたと言ってもよいと思います。このセミナーを準備するプロセスは、それまで、医師、看護師、リハビリセラピスト、ヘルパーに分かれて創ってきた研修を、再度見直し、要素に分け、「多職種協働」という視点から再構築するものでした。そのプロセスを通して、医療ケアのある子どもたちの命を守り、健康を増進し、生活を支える「地域における医療と福祉を包含した多職種連携」は、24 時間の生活を具体的にイメージするという共通の認識のもと、医師、看護師、リハビリセラピスト、ヘルパーのそれぞれの職種が、他の職種の働きを理解し、全体の中で、自らの仕事を再確認することが必要であるとわかりました。また、医療ケアのある子どもたちの病態を、医学的診断からのみでなく、「生きにくさ、暮らしにくさ、ケアのしやすさ」という視点から、病態によって理解し、医療職も、福祉職も共通に理解できる言葉で、再定義することの必要性を痛感しました。同時に、人工呼吸器のような重い医療ケアのある子どもの長期生存が可能になるだけでなく、20 歳を超えてから医療ケアが重度になる重症心身障害者の増加も大きな問題となりつつある今、短期的な見通しのみでなく、0 歳から 50 歳までを見通して、子どもたちの生活を地域でどのように支えてゆくのかを示す必要があると感じました。それらの私たちの気付きを具体的なカリキュラムにしたのが、この「小児在宅支援に関わる多職種合同セミナー ～医療と福祉の協働で暮らしを支える～」でした。そして、実際に実施し、参加された皆様のアンケートを拝見し、分析して、私たちの研究班での検討、議論が行きついた子どもたちの命を守るための「医療」と「生活」の融合、「病院」と「地域」の連携を作っていける方法論として、今回のセミナーが有効であり、セミナーを通して、共に学び、語り合う中で医療職も、福祉職も、病院も地域も協働に向けて変わってゆけるという確信を得ることができました。そして、「医療」と「生活」が新しい次元で融合し、「病院」と「地域」の連携が深く強固になった小児在宅医療における地域包括ケアが、このセミナーの積み重ねによって、実現すると感じています。

今後も、様々な方のご努力によって、小児在宅医療における地域包括ケアのモデルは創られていくだろうと思います。本報告書が、その小さな一里塚になることを心から希望します。

最後になりますが、研究の責任者として不十分なことも多かった私とこの 1 年間ご一緒に研究を進めてくださった研究分担者、研究協力者の皆様、ならびに本研究を支えて下さった多くの皆様に心から感謝を述べ、終わりの言葉とさせていただきます。

2014 年 3 月

前田浩利

<研究者一覧>

| | | |
|--------|----------------------|--|
| 研究代表者 | 前田 浩利 | 医療法人財団はるたか会あおぞら診療所新松戸 |
| 研究分担者 | 田村 正徳 | 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 |
| | 小沢 浩 | 社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センターはちおうじ |
| | 吉野 浩之 | 群馬大学大学院 教育学研究科 |
| | 荒木 聡 | 東京都立駒込病院 小児科 |
| | 奈良間 美保 | 名古屋大学大学院 医学系研究科 |
| | 梶原 厚子 | NPO 法人あおぞらネット |
| | 福田 裕子 | ケアラーズジャパン株式会社 まちのナースステーション八千代 |
| | 西海 真理 | 国立成育医療研究センター 看護部 |
| 研究協力者 | 側島 久典 | 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 |
| | 森脇 浩一 | 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 |
| | 宮田 章子 | みやた小児科 |
| | 田中 総一郎 | 東北大学大学院医学研究科発生・発達医学講座小児病態学分野 |
| | 恒川 幸子 | 梶原診療所 在宅サポートセンター |
| | 島津 智之 | 独立行政法人熊本再春荘病院小児科 |
| | 奈須 康子 | カルガモの家 |
| | 松岡 真里 | 独立行政法人国立病院機構 香川小児病院 |
| | 井川 夏実 | 医療法人財団はるたか会 訪問看護ステーションあおぞら |
| | 山崎 雪 | 特定非営利活動法人あおぞらネット 訪問看護ステーションそら |
| | 木暮 紀子 | 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター |
| | 高橋 昭彦 | ひばりクリニック |
| | 李 国本 修慈 | NPO 法人地域生活を考えよーかい 有限会社しえあーど こうのいけスペース |
| | 関根 まき子 | 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会 花の郷 |
| | 戸枝 陽基 | 社会福祉法人 むそう |
| | 長島 史明 | 医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所新松戸 |
| | 緒方 健一 | 医療法人おがた会 おがた小児科・内科医院 |
| | 平井 孝明 | 平井こどもリハビリテーションサービス |
| | 中川 尚子 | 医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所新松戸 |
| | 中野 弘陽 | 特定非営利活動法人あおぞらネット 訪問看護ステーションそら |
| 夏目 浩次 | 社会福祉法人豊生ら・ばるか | |
| 上田 恵理奈 | 医療法人おがた会 おがた小児科・内科医院 | |
| 新塘 久美子 | 医療法人おがた会 おがた小児科・内科医院 | |
| 谷川 章太郎 | 医療法人おがた会 おがた小児科・内科医院 | |
| 雨宮 馨 | 島田療育センターはちおうじ | |



平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）

「医療依存度の高い小児及び若年成人の重度心身障がい者への在宅医療における
訪問看護師、理学療法士、訪問介護員の標準的支援技術の確立と
その育成プログラムの作成のための研究」 総括・分担研究報告書

発行者 東京医科歯科大学 医学部 前田浩利

住 所 東京都文京区湯島 1-5-45

発行年月日 平成 26 年 3 月

